

ひとよし 市議会だより

第125号



2025 / 令和7年8月1日 発行



夏を迎えた球磨川と人吉城跡

主な内容

- ② 6月定例会報告
- ③～④ 委員会報告
- ⑤～⑧ 一般質問 ～市政を問う～
- ⑨ 政務活動費収支報告書

編集 議会報編集委員会

発行 人吉市議会
人吉市西間下町字永溝7番地1
☎ 0966-22-2111(代)
E-mail gikai@hitoyoshi.kumamoto.jp

市のホームページでもご覧になれます
URL <https://www.city.hitoyoshi.lg.jp/>



6月定例会報告

令和7年6月第3回定例会は、6月2日から6月24日までの23日間開催されました。

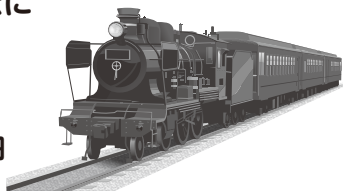
令和7年度 一般会計補正予算
5億1,098万2千円 増額可決
(補正後の総額は240億159万6千円)



一般会計補正予算の主なもの

SL人吉動態展示に
要する経費

1,200万3千円



定額減税補足給付金
(不足額給付) 支給事業

1億1,771万7千円



保健指導支援システム等
機能拡張事業

1,940万4千円



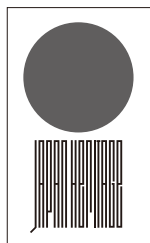
被災市街地復興
推進事業

4,210万円



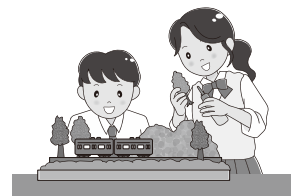
球磨焼酎・日本遺産人吉球磨
インバウンド誘致プロジェクト
事業

5,750万円



SL人吉・鉄道フェス
実行委員会補助金

350万円



人事案件

教育委員会委員
の任命に同意した方

松岡 誠也 氏

人権擁護委員
の推薦に同意した方

柳瀬 恵子 氏

馬場 哲也 氏

延岡 研一 氏

北 昌二郎 氏

迫田 浩二 氏

6月2日定例会開会日に、常任委員会等の改選がありました

【予算委員会】

◎ 平田 清吉 ○ 川上 紗智子
全議員

【厚生委員会】

◎ 池田 芳隆 ○ 井上 光浩
徳川 禎郁 福屋 法晴

【議会運営委員会】

◎ 大塚 則男 ○ 西 信八郎
川上 紗智子 徳川 禎郁
池田 芳隆 牛塚 孝浩
平田 清吉 井上 光浩

【総務文教委員会】

◎ 松村 太 ○ 豊永 貞夫
大塚 則男 平田 清吉
西 信八郎

【経済建設委員会】

◎ 牛塚 孝浩 ○ 宮崎 保
川上 紗智子 村上 恵一
田中 哲

※ ◎ 委員長、○は副委員長です

総務文教委員会報告

●委員長 松村 太 ●副委員長 豊永 貞夫
●委員 大塚 則男・平田 清吉・西 信八郎

●専決処分 令和6年度一般会計補正予算(第10号)を承認 ・小中学校教育振興会補助金

問 中体連大会や駅伝大会等に係る補助金は、市内全中学校が対象か。

答 県大会や九州大会等に進んだ場合に助成している。市内全小中学校が対象である。

●専決処分 人吉市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正を承認

人事院規則が改正され、会計年度任用職員の病気休暇で、これまで無給であったものが、令和7年4月1日から有給化されたことに伴い、条例の一部を改正したもの。

●財産の取得についてを承認

小学校3年生以上が使用しているタブレット端末が、購入から4年が経過し、更新が必要となり新たに購入するもの。

問 県による共同調達だと地元の業者が参加できないがどう思うか。

答 国の方針で全国的に共同調達している。県一括の方がコスト削減、事務負担の軽減が図られる。また、管内で同様の機種を使用することで、教職

員の学習指導の負担軽減につながり、教育格差をなくすことにもつながる。

●令和7年度一般会計補正予算(第2号)を承認 ・まちなか創生事業社会実験等業務委託料

問 具体的な内容は何か。

答 城見庭園の仮設デッキの設置、大橋を使った歩行者天国のイベント、仮設駐車場の設置、中川原公園や青井地区での夜間照明の設置、シェアサイクル、情報発信や社会実験の検証・分析などに係る実費分である。

・SL人吉動態化整備委託料

問 SL人吉が動くまでの工事委託料か。

答 大型コンプレッサー2台を積載するなど、SL人吉を動く状態にする整備である。



動画視聴



厚生委員会報告

●委員長 池田 芳隆 ●副委員長 井上 光浩
●委員 徳川 禎郁・福屋 法晴

●専決処分 令和6年度一般会計補正予算(第10号)、条例3件を承認

・人吉市税条例の一部を改正する条例

問 固定資産税について、特定マンションとはどういうものか。また、本市の対象数は。

答 ある程度築年数が経過し、大規模改修を行ったもの。本市では、2か所のビルを確認している。

●令和7年度一般会計補正予算(第2号)を承認

・地区公民館等整備費補助金

問 公民館改修は、何年経過後に行えるのか。また、申請は何年ごとに行えるのか。

答 更新期間は設けておらず、緊急的なもの等、必要に応じて整備を行っている。

・コミュニティ助成事業補助金

問 今回、不採択になった町内会は来年度新たに申請をしなければならないのか。

答 申請については、再度行う必要がある。

・定額減税補足給付金(不足額給付)

問 LINEを活用して、給付金の申請ができるとのことだが、振込先の入力等の方法は。

答 LINEを活用した申請の場合、代理受領ができず、必ず本人口座になる。本人に通知する今回の給付金に対する番号、生年月日等を入力後、対象となる口座等を入力し、生年月日と名前等が一致し、本人確認ができれば振り込むことになる。

・戦後80年の平和記念事業

問 展示パネルは、どのように活用するのか。

答 平成23年に作成した冊子「戦争体験と平和への思い」をパネル化し、市役所ロビーで8月1日から終戦記念日を挟んだ1か月間の展示を計画している。

・保健指導支援システム等機能拡張事業

問 パソコンの購入台数と使用目的は。

答 3台の購入を予定しており、対象者に合った保健指導の資料や結果の提示、その場で入力ができるように効率向上を図る。



動画視聴



経済建設委員会報告

●委員長 牛塚 孝浩 ●副委員長 宮崎 保
●委員 川上 紗智子・村上 恵一・田中 哲

●専決処分 令和6年度一般会計補正予算(第10号)を承認

繰越明許費の補正では、椿谷川河川等整備事業等の追加が3件。村山観音道路線ほか村山公園の都市防災機能総合推進事業等、事業費の確定による変更が7件。

●令和7年度一般会計補正予算(第2号)を承認

・SL人吉・鉄道フェス実行委員会への補助金

問 実行委員会の構成は。

答 人吉温泉観光協会、くま川鉄道株式会社、人吉商工会議所、JR人吉駅、人吉駅通り街づくり振興会及び人吉市で組織する予定。

・まち・ひと・しごと総合交流館の清掃・水質検査委託料

問 委託料が追加された経緯は。

答 今回は安全をさらに期すため水質検査を追加。年2回検査をする方向で考えている。

・道路改良工事費

問 工事箇所は。

答 大野国有林出水線、田野高原線及び戸越草津線。

●令和7年度公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)を承認

・下水道管路緊急調査委託料

問 専門の業者に委託するのか。

答 県内にある日本下水道管路管理業協会に所属する会員業者に委託する。

・第2期人吉市公共下水道ストックマネジメント計画策定業務委託料

問 5年前との委託料の比較は。

答 前回は管路と処理場の全体的予算の中で策定していたが、今回は管路のみの予算。

●工事請負契約の締結についてを承認

・椿谷川河川改修工事費

問 工期等は。

答 工期末は令和8年3月を予定、本工事をもって完了となる。



動画視聴



委員会の所管事務調査が決定しました

協議・行政視察・意見交換・市民アンケート
などを行い、2年間で調査を行います

◎総務文教委員会

【調査事項】公共施設の在り方について

これまで様々な公共施設等を建設し、維持管理に努めてきたが、老朽化が進み、維持管理や建て替え、改修に係る経費の増大が見込まれ、「人吉市公共施設等総合管理計画」では、長期的な視点で公共施設等の更新・統廃合・長寿命化等を計画的に行うこととされました。

しかし、令和2年7月豪雨災害を経て、多くの公共施設が被災し、避難所や行政機能としての活用など大きな機能の変更を迫られ、管理計画の進捗も立ち止まらざるを得ませんでした。

被災後5年が経過するにあたり、改めて本来の目的に準じた公共施設等の管理運営を行い、市民ニーズと行政需要に合わせる必要が高まっています。そのため、「学校教育系施設」「市民文化系施設」「社会教育系施設」「スポーツ・レクリエーション系施設」の公共施設に主眼を置き、公共施設の在り方について調査・研究を行います。

◎厚生委員会

【調査事項】高齢者支援について

少子高齢化と人口減少が進行する中で、福祉ニーズが多様化・複雑化してきています。

福祉の提供においては、誰もが個々のニーズに合った支援を受けられる体制を構築するとともに、新しい支援体制を支える環境整備が必要です。

また、地域住民等の参画と協働により、地域との関係性が希薄になりがちな高齢者を誰ひとり取り残すことのない共生社会の実現を目指さなければなりません。

以上のことから、高齢者支援に関する施策の調査を行います。

◎経済建設委員会

【調査事項】スマート農業の可能性について

高齢化や担い手不足等による農業従事者の減少をはじめ、遊休農地の増加、農業用水需要の減少及び農業用施設の老朽化に伴う維持管理への不安など、様々な課題を抱えています。

中山間地や狭隘な農地が多い本市における、生産性向上と収益性改善に、スマート農業技術がどの程度貢献できるかを評価し、地域農業の持続可能な発展に向けた調査を行います。

一般質問

～市政を問う～

一般質問とは、年4回行われる定例会で、議員が市に対して政策の見直しや新たな政策を提言する議員の重要な活動の一つです。

6月定例会では、6月10日～12日の3日間で10人の議員が登壇し、さまざまな視点から活発な論議が行われました。

その要旨を各議員が報告します。掲載は質問順としています。

各議員の項目にあるQRコードをスマートフォン等の専用アプリで読み取ると、一般質問の録画映像がご覧いただけます。



一般質問通告書は
こちらから

QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です

復興まちづくり計画と市債の 残高について



平田 清吉



動画視聴

問 天狗橋の復旧工事、球磨川左岸改修事業の今後のスケジュールは。

答 天狗橋の開通見通しは、令和7年度中とされていたが、まだ塗装工事や舗装工事が残っており、開通時期は未定。球磨川左岸における河道拡幅は、下戸越地区で最大約60m、小柿地区で最大約20m、全長が2400mで計画されている。令和6年度より現地の調査・測量・設計に着手、令和7年3月に下戸越・小柿地区にて、事業計画の説明会を開催。早期の工事着工を目指して、引き続き用地調査や測量など、用地協議に入る予定。

問 答 地方債（市債）の残高の推移は。
平成30年度末残高は、144億6965万円、令和5年度末残高は、253億5690万9千円となっている。

道路面標示剥離問題と病児保育 について 他



牛塚 孝浩



動画視聴

問 道路の路面標示等の劣化状況について、具体的な調査や危険個所の把握はできているのか。

答 職員による道路パトロールや、通報・要望を通じて把握し、地図に落とし込み管理している。

問 予算がないことを理由に整備を放置する事は住民福祉に反する。今後、より一層の予算を確保して道路の整備を加速できないか。

答 重要な施策と位置づけ、迅速・着実に解決できるよう取組を強化する。特に2年間で重点期間と位置づけ、維持補修や安全施設に関する予算をしっかりと確保し、安全確保への施策に取り組んでいく。

※他、病児保育における体調不良児対応型への取組・予約システムのDX化・広域連携についてや、水質検査計画策定について質した。

一般質問 ～市政を問う～

はり・きゆう・マッサージ券 の今後



村上 恵一



動画視聴

問 はり・きゆう・マッサージは、大学の研究では医療費が26・2%減少するとの結果もある。今後、財政状況が改善すれば制度の拡充や復活を検討できるか。

答 制度の意義は認識しているが、交付率と利用率が低調であり、現時点では現行制度を維持する方針である。

問 今まで周知を怠った経緯があり、本市にも責任がある。制度の認知度が極めて低く周知の強化を求めたい。制度を復活拡充して、医療費抑制につなげるべき。また、施術券制度の復活や拡充を求める陳情を提出した三団体との意見交換の場を設けることはできないか。

答 今後、意見交換の場を設け、健康づくりや制度に対する市民の意見を直接伺う機会としたい。

脱炭素社会への取組と人吉市史 編さんについて



豊永 貞夫



動画視聴

問 本市がゼロカーボンシティ宣言を行ってから、具体的にどのような取組を進めたのか、また、現在の進捗状況と今後の取組は。

答 市役所の事務事業における温室効果ガス排出削減は平成25年度比で約25・9%削減した。市民・事業者との協力、ペットボトル水平リサイクル等を行い、今後も復興事業と脱炭素社会の両立を進める。

問 昭和17年以降の歴史をまとめる「人吉市史」の第3巻の編さんについて、本市の認識と課題は。

答 戦後復興・高度経済成長・令和2年豪雨災害など記録すべき重要な時代と認識し、資料の収集・整理・デジタル化も進め、文化行政の一環として計画的に取り組む。編さんには多くの労力と費用が必要で、効率化を図りながら検討する。

くま川鉄道等のマイレール意識 の醸成



池田 芳隆



動画視聴

問 くま川鉄道の現状と問題点は。

答 定時性、速達性、大量輸送性といった鉄道の強みが発揮できていない。持続的な運営のために、利便性向上など様々な対策を講じる必要がある。

問 人口減少化の利用者拡大施策は。

答 学生への対応だけでなく、幅広い世代に鉄道を日常的に利用していただくことが重要。路線バスや乗合タクシー等の二次交通への接続強化や、共通乗車券や割引制度の導入等、効果施策を検討中。

問 JR肥薩線渡駅までのくま川鉄道の直通運行や、カルチャーパレスに新駅設置はどうか。

答 地理的状況や利用者の需要の把握、費用対効果等の分析など様々な課題があるが、今後、必要に応じて関係機関と検討したい。

一般質問 ～市政を問う～



一般質問
通告書は
こちらから

各議員の項目にあるQRコードをスマートフォン等の専用アプリで読み取ると、一般質問の録画映像がご覧いただけます。

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

高齢者が安心して暮らせる地域 づくりについて



徳川 禎郁



動画視聴

問 市営住宅において、高齢や身体的理由により、上の階から1階等への転居に係る経費支援の考えは。

答 特別の事情がある場合には、敷金徴収の猶予が可能。敷金返還後に新入居の敷金を支払う等、負担の軽減を図って参りたい。

問 高齢者の見守りとして、通信機能付きLED電球等の導入など、見守りDX化への取組の検討は。

答 他自治体の状況や本市の高齢者施策全体を踏まえ、実施できる仕組みを構築していく必要がある。

問 高齢者の孤立を防ぎ、安心して暮らせる人吉市としての考えは。

答 地域全体で高齢者に対する理解を深め、地域社会全体で協力し持続可能なまちづくりを目指す。

※他、閉校施設の現状と、今後の利活用について質した。

補聴器購入助成の実現を



川上 紗智子



動画視聴

問 補聴器購入助成の実施状況は。

答 令和6年12月現在、全国1427市町村のうち390市町村が実施。県内では、今年の4月1日現在で、45市町村のうち、五木村等8つの自治体の実施している。

問 助成制度が広がっている背景は。

答 県内の実施自治体では、耳の虚弱や聴覚機能の衰えが日常生活に影響をおよぼすこと、また、補聴器をつけることで認知症予防効果が期待されることから、実施を決定したと聞いている。

問 導入を検討したことがあるか。

答 検討したが、財政負担の問題もあり、導入には慎重な検討が必要。

問 高齢者へのサポートが必要では。

答 高齢者への支援は大きな課題であると認識している。関係者と議論検討していきたい。

川線再開に向けて・水稻栽培の 省力化



田中 哲



動画視聴

問 33年度の鉄道復旧を目指す肥薩線の川線について、鉄道の持続可能な運行には、市民の熱意が必要。市民との協働の在り方は。

答 SL人吉を九州唯一となる動態保存とした上で、例えば清掃や学習の場の提供で、マイレールの意識向上につなげ、日常利用につなげる。復旧前でも、沿線の清掃などを通じ、鉄道に親しみ、市民と行政が協力し、地域全体で共創の場を作る。

問 大幅に省力化でき、田んぼダムにも有効な畦畔ブロック導入は。

答 有効性の説明を行い、農家の意向を確認していく。県とも協議しながら、調査、研究していく。

問 労働時間の短縮、設備等のコスト削減に有効な乾田直播の普及は。

答 人吉で取り組んでいる所もある。興味を持つ人にはつないでいく。

一般質問 ～市政を問う～

老人会の活動状況について



宮崎 保



動画視聴

問 老人会（シニアクラブ）の現状と今後、本市としての関わりは。

答 対象年齢は60歳以上がほとんどだが、50歳代からの方もいる。

令和2年の豪雨災害により休会や合併したところもある。

クラブ・会員数は、令和元年が56クラブ・2986人、7年は36クラブ・1555人となっている。

減少している要因は、定年延長や趣味を楽しむなど、ライフスタイルの多様化に加え、役員の成り手がなく運営できなくなっていることが考えられる。高齢者が社会の重要な一員として、生きがいを持って活躍できるように、連携を図りながら支援していきたい。

※他、戦後80年の取組、義務化になる熱中症対策、体育施設等のコートラインの整備について質した。

教育振興・孤独孤立対策推進について



松村 太



動画視聴

問 幼保・小中連携会議の実施状況はどうなっているか。

答 幼保と小学校でのより良い学びの連続性を目指し「人吉市架け橋プログラム」を作り上げたい。

問 AIなどに取って代わられないためにリベラルアーツ教育の視点が必要ではないか。

答 答えが一つではない変化の激しい社会に対応するため、多様な知識を横断的に学び、批判的思考力や問題解決能力などを身に付ける教育は、本市の取組の方向性に通じている。

問 民生委員・児童委員や、くらし見守り相談員の現場・引継ぎの課題を調査し、対策しないのか。

答 「支える人を支える」仕組みづくりについて、関係機関と連携して検討してまいりたい。

全国市議会議長会より表彰

市議会議員として、永きにわたり市政の振興に努めた功績が認められ、2名の議員が全国市議会議長会の総会において表彰を受けられました。

なお、6月定例会で伝達式を行いました。

〈議員10年表彰〉

宮原 将志 議員
川上 紗智子 議員



令和 6 年度政務活動費収支報告書

政務活動費とは・・・議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として地方自治法で交付が認められているものです。

(円)

氏 名	収 入	支 出										
		調査 研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・ 陳情 活動費	会議費	資料 作成費	資料 購入費	人件費	事務所 費	合 計
川上紗智子	240,000			5,260							150,000	155,260
松村 太	240,000	170,861		3,340								174,201
徳川禎郁	240,000	147,052	64,918	27,277					17,450			256,697
池田芳隆	240,000	130,048	49,510	3,340					5,908			188,806
牛塚孝浩	240,000	169,372	5,000	164,755	50,468				3,400			392,995
宮崎 保	240,000	130,048		80,340					8,400			218,788
大塚則男	240,000	176,496	57,340	3,340								237,176
平田清吉	240,000	167,108	67,742	3,340					32,400			270,590
井上光浩	240,000	176,498		3,340								179,838
豊永貞夫	240,000	120,072		3,340				7,292	3,400			134,104
西信八郎	240,000	167,108		3,340					77,220			247,668
村上恵一	240,000	176,498		3,340				996				180,834
本村令斗	240,000		32,000	5,260					53,161		150,000	240,421
田中 哲	240,000	169,618	5,000	3,340				5,185			9,754	192,897
福屋法晴	240,000	169,109	67,592	3,340					17,840			257,881
宮原将志	240,000	174,105	63,150	3,340								240,595
合 計	3,840,000	2,243,993	412,252	319,632	50,468	0	0	13,473	219,179	0	309,754	3,568,751

注) ・政務活動費の交付を受けた議員を掲載しています。
・政務活動費の交付額は月額 2 万円です。
・収支報告書には全ての領収書の写しを添えて提出することとなっています。
・支出額が収入額を上回っても交付額の増額はありません。支出額が収入額を下回った場合は残余を全額返還しなければなりません。

国の関係機関へ意見書を提出

～～ 地方財政の充実・強化に関する意見書（要旨抜粋） ～～

いま、地方公共団体には、急激な少子・高齢化にともなう社会保障制度の整備、子育て施策、人口減少下における地域活性化対策はもとより、DXの推進、脱炭素化、物価高騰対策など、極めて多岐にわたる新たな役割が求められています。加えて、多発化する大規模災害への対応や新興感染症への備えも求められる中、地域公共サービスを担う人員は圧倒的に不足しており、職場における疲弊感は日々深刻化しています。

政府はこれまで「骨太方針」に基づき、地方一般財源の前年度水準を確保する姿勢を示してきました。しかし、増大する行政需要また不足する人員体制に鑑みれば、今後はより積極的な財源確保が求められます。

このため、2026年度政府予算また地方財政の検討にあたっては、現行の地方一般財源水準確保より積極的に踏みだし、社会全体として求められている賃上げ基調にも対応する人件費の確保を含めた地方財政を実現するよう、以下の事項を求めます。

記

- 1 社会保障の充実、地域活性化、自治体DX、脱炭素化、物価高騰対策、防災・減災、地域公共交通の再構築など、増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握するとともに、それを支える人件費を重視しつつ、現行の水準にとどまらない、より積極的な地方財源の確保・充実をはかること。
- 2 とりわけ、子育て対策、地域医療の確保、介護や生活困窮者の自立支援など、より高まりつつある社会保障ニーズが自治体の一般行政経費を圧迫していることから、引き続き、地方単独事業分も含めた、十分な社会保障経費の拡充をはかること。とくに、これらの分野を支える人材確保にむけた自治体の取組を十分に支える財政措置を講じること。
- 3 地方交付税の法定率を引き上げるなどし、引き続き臨時財政対策債に頼らない、より自律的な地方財政の確立に取り組むこと。また、地域間の財源偏在性の是正にむけては、所得税や偏在性がより小さい消費税を対象に国税から地方税への税源移譲を行うなど、より抜本的な改善を行うこと。

（他 8項目）

上記の意見書は、6月定例会において全会一致で可決し、令和7年6月24日付で関係機関へ提出しました。

提出先は、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣、デジタル大臣、内閣府特命担当大臣（こども政策 少子化対策 若者活躍 男女共同参画、共生・共助）です。

※意見書の全文は
こちらから



お知らせ

会議録の検索・閲覧ができるようになります

会議録検索システムが9月より利用可能となります。

本システムは、ご自宅のパソコンやスマートフォンから、24時間いつでも本会議の会議録をキーワードや議員名で検索することが可能になります。

システムの詳細な操作方法是、次回の議会だよりで改めてご案内いたします。



・・・令和7年6月定例会の議案等の議決結果・・・

◆〔議案〕

番 号	件 名	議決結果
議第55号	専決処分の承認を求めることについて(令和6年度 人吉市一般会計補正予算(第10号))	原案承認
議第56号	専決処分の承認を求めることについて(人吉市会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例)	原案承認
議第57号	専決処分の承認を求めることについて(人吉市税条例の一部を改正する条例)	原案承認
議第58号	専決処分の承認を求めることについて(人吉市都市計画税条例の一部を改正する条例)	原案承認
議第59号	専決処分の承認を求めることについて(人吉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	原案承認
議第60号	令和7年度 人吉市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
議第61号	令和7年度 人吉市一般会計補正予算(第2号)	原案可決
議第62号	令和7年度 人吉市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議第63号	工事請負契約の締結について	原案可決
議第64号	財産の取得について	原案可決
諮第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	推薦同意
諮第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	推薦同意
諮第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	推薦同意
諮第4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	推薦同意
諮第5号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	推薦同意
議第65号	令和7年度 人吉市一般会計補正予算(第3号)	原案可決
議第66号	令和7年度 人吉市水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議第67号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	任命同意

◆〔請願・陳情〕

番 号	件 名	代表者の住所及び氏名	付託委員会	議決結果
請第2号	人吉球磨准看護学院へのさらなる支援を求める請願	熊本県人吉市南泉田町72-2 一般社団法人人吉市医師会 会長 友永 和宏	厚生委員会	継続審査

公式 Facebook はじめました！

人吉市議会では、開かれた議会を目指して議会改革に取り組んでいます。

その一環として、議会の情報発信を充実させるため、Facebookの運用を開始しました。

これから議会に関する情報を幅広く発信していく予定です。

常任委員会の動画配信

令和7年6月定例会から、総務文教委員会、厚生委員会、経済建設委員会の審査の様様を、インターネット配信(録画)を開始しました。

3～4ページの各委員会報告欄にあるQRコードから、動画を視聴いただけます。



南九州中部市議会議長会議員研修会へ参加

南九州中部市議会議長会は、小林市、えびの市、伊佐市及び人吉市の4市議会議長で構成され、地域の諸問題解決に協力し取り組んでいます。

今年は、7月9日にえびの市で開催され、「ハラスメントをどう防ぐか」～男女共同参画の視点から見る働きやすく働きがいのある職場づくり～の演題で、宮崎県男女共同参画センター所長の講演があり、議員の資質向上と研鑽を深めました。

また、講演後に、国道の整備促進を求める決議、地域医療の確保を求める決議、家畜伝染病に係る防疫対策等の決議を採択し、8月5日に国土交通省や農林水産省の関係省庁、地元国会議員へ要望活動を行う予定です。



講演・質疑の様子

本村令斗議員が逝去されました

本村令斗議員（享年65歳）が、去る令和7年6月16日にご逝去されました。本村議員は、平成11年に初当選され、永きにわたり市政の発展に尽力されました。6月24日の議会閉会日では、黙とう並びに追悼演説をささげました。ここに、同氏の功績をたたえとともに、ご冥福を心よりお祈りいたします。



編集後記

令和2年7月豪雨災害から5年が経ち、「今年は大丈夫だろうか」と、この季節になると心配になります。今年の梅雨入り・梅雨明けもこれまでと違い不安になります。去る6月29日に行われた人吉市の豪雨災害犠牲者追悼式に出席し、「再び同じような悲劇を繰り返さないように被災者の思いをきちんと受け止め、引き続き治水技術の科学的研究成果や先進事例に学んだ対策が必要ではないか」と、改めて考えさせられました。

まだ復旧・復興の半ば、さらに市民の皆様の声に耳を傾け、安心・安全なまちづくりのために力を尽くしてまいります。

文責…川上 紗智子

次の定例会は
9月1日開会の予定です

【議会報編集委員会】 委員長／宮原 将志 副委員長／福屋 法晴
委員／川上 紗智子・松村 太・徳川 禎郁・池田 芳隆・牛塚 孝浩・豊永 貞夫